

語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所広報 (2023 年 5 月)

研究発表会のお知らせ

2023 年度、第 1 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時 : **2023 年 6 月 5 日(月) 午前 11 時 00 分～**

参加方法 : 本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。
Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。
ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者 : **クリスティアン・W・シュパング 先生 (外国語学部 英語学科)**

題 目 : **戦前期の日本の旧制高等学校のドイツ人教師**

概 要 : 最初に、旧制高等学校の外国語教育について説明する。ほとんどの高校では、英語、ドイツ語やフランス語のネイティブの教師も採用されていた。20 世紀初頭、「お雇い外国人」の数を減らしたため、外国人社会の中で高校の教師の影響力は高まった。たとえば、第一次世界大戦後、教師はドイツ東洋文化研究協会 (OAG) 内で以前より大きな役割を果たした。伝記的スケッチの助けを借りて、さまざまなドイツ人教師のキャリアと活動を考察したい。

②発表者 : **ショーン・ディヘヴン 先生 (外国語学部 英語学科)**

題 目 : **日本メディアにおける「笑い」と政治性**

概 要 : 欧米に比べて、日本の芸人がネタの中で政府や社会問題などに焦点を当てることはほとんどありません。この発表では、日本と西洋の政治風刺などの違いを簡単に概観し、こういうコメディーを選択する数少ない日本のコメディアンを紹介します。芸人の取材を通じて、この芸風をする動機、日本で普及しない理由と、今後どうなるのかなどを探ります。

以上

[問い合わせ先] 語学教育研究所 E-mail : daitogoken@gmail.com